

伝統医学（はり、あん摩マッサージ指圧）を活用した Presenteeism（プレゼンティズム）対策に関する研究



【池袋キャンパス】ヒューマンケア学部 鍼灸学科 教授

宮崎 彰吾 Miyazaki Shogo

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : 肩こり・腰痛・労働衛生サービス・費用と費用分析



研究の概要

SDGs 目標 3：すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 8：働きがいも 経済成長も

「休暇を取るほどでもないが、なんとなく調子が悪い、いまひとつ仕事はかどらない」という労働者の状況（Presenteeism）が生産性を低下させ、企業に多額の損失を与えていることが指摘されています。特に国民病とも称される「肩こり」、「腰痛」などの慢性的な痛みによる損失額は、生活習慣病などの病気による欠勤や医療費などを大きく上回っていることから、経営者は対策を講じる必要に迫られています。一方、伝統医学である「鍼療法」や「あん摩マッサージ指圧」は、「肩こり」や「腰痛」などの慢性的な痛みに対する有用な方法として国民に受け入れられてきました。そこで、私たちは、（公社）東京都鍼灸師会の協力を得て、「肩こり」や「腰痛」などで Presenteeism と自覚しているオフィスワーカーに、鍼療法に要した費用に対して 4 週間に合計 8 千円までキャッシュバックすると提示した際（介入群）の費用対効果、について、提示しなかった場合（対照群）とのランダム化比較試験を実施しました。

その結果、鍼療法へのキャッシュバックにより、Presenteeism による損失額を従業員一人当たり月額約 1 万 4 千円補填することができました。

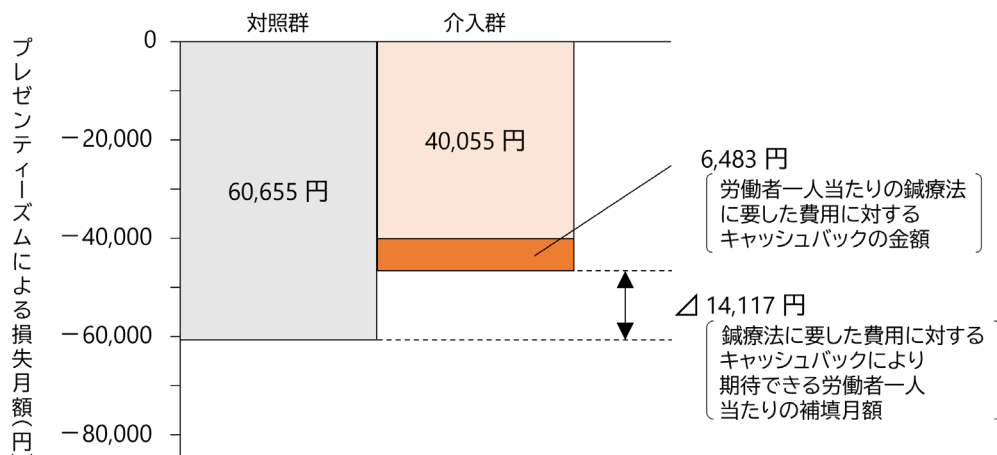


図 鍼療法に要した費用に対するキャッシュバックにより期待できる労働者一人当たりの補填月額(円)

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

- ・企業・団体との共同研究により、労働者の健康不調に関わるコスト損失を可視化し、「鍼療法」や「あん摩マッサージ指圧」を活用した施策を導入した際の費用対効果を提示しています。
- ・どのような「鍼療法」や「あん摩マッサージ指圧」を提供することが、費用対効果や満足度をより高めることができるかについて「はり師」及び「あん摩マッサージ指圧師」やこれらの有資格者を雇用している事業所に情報提供をおこなっています。
- ・企業の健康経営に「鍼療法」や「あん摩マッサージ指圧」を導入する際の相談並びに支援をおこなうことができます。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

- ・「企業における鍼治療への態度と利用可能性 断面研究」
- ・「肩こりを主訴として鍼療法を受けたオフィスワーカーの満足度に影響を及ぼす因子」
- ・「Managing office worker presenteeism by providing financial aid for acupuncture therapy: a pragmatic multicenter randomized comparative study.」